

平成 29 年度第 3 回白井市文化会館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 平成 30 年 3 月 15 日（木） 午後 3 時から午後 4 時 30 分まで
2. 開催場所 文化センター1 階 文化会館ホワイエ
3. 出席者 委員 網野会長、海老原委員、吉井委員、今井委員
川上委員、渡辺委員、北島委員、馬場崎委員
4. 欠席者 石川副会長、佐藤委員
5. 事務局 井上教育長、染谷教育部長、山本課長、長濱副主幹、金井主査補
6. 傍聴者 3 人
7. 議題 ①主催事業実績報告について
②平成 30 年度主催事業について
8. 議事 以下のとおり

事務局	定刻になりましたので平成 29 年度第 3 回白井市文化会館運営協議会を始める。最初に会長挨拶をお願いする。
会長	(会長あいさつ)
事務局	次に教育長をお願いする。 (教育長あいさつ)
事務局	教育長は、この後所用のため退席する。
事務局	会長に議題についての進行をお願いする。
会長	本日の議題で事前送付のものと今日配ったものとあるが、事前送付は案で、今日は案が取れている。これは報告事項のみになるのか。
課長	まだ案の状態では体裁を整えているだけである。また後で詳しい説明申し上げる。
会長	第 1 号議案の平成 29 年度の主催事業実績報告を事務局からお願いする。
事務局	第 1 号の白井市文化会館の主催事業の報告をする。今回 5 演、千葉県警察音楽隊、ピアノリサイタル、オカリナ演奏会、高嶋ちさ子 12 人のヴァイオリニスト、ふるさと大使ライブ 2018 を行なった。チケットの販売枚数がすごく良かった。会館始まって以来の高収益率だったと思う。公演手数料が合計で 513 万 4,226 円、チケットの販売額が 423 万 2,500 円、82.4%の回収率である。ピアノリサイタルは台風で当日券の売り上げが伸びなかったのが残念だ

	<p>ったが、もう少しで100%超えるというところまで来た。オカリナ演奏会については子向けとして行ったのですけれども小中学生、未就学児より高齢者の方に人気があった。高嶋ちさ子のヴァイオリンのコンサートは、販売日の午後2時の時点でほぼ完売状態で、94.4%であった。公演料が345万6,000円とかなり安く主催者側としてはかなりいい成績だった。ふるさと大使ライブは、出演料64万円で、500円のチケットが629枚31万4,500円、大体49%の収益であり、昨年よりも増えている。なぜかというところと船橋と鎌ヶ谷にチラシ1万6,500枚を折込みで配布して、市民以外にもPRしたところ当日だけでも180人のファンが来て629枚チケットが売れた。全体的に今年は6割を目標にやっていたが、8割を超えかなり成績が良かった。</p> <p>次に、アンケート集計ですが、警察音楽隊は70代の人が多い、ピアノリサイタルは、60代70代の人が多い。オカリナも60代70代、高嶋さんも60代70代、ふるさと大使も60代70代の人アンケートの回収が多い。高齢者の方がホールに足を運んでいただいている。警察音楽隊の時の演目希望はクラシックが多い。ピアノの時もクラシック系が多い。オカリナの時もクラシック系多い。高嶋さんの時も。</p> <p>ミュージカルそれから古典芸能も結構な要望がある。以上の4公演は音楽系であるから、音楽系が多くなるのはそのとおりと思う。続いてふるさと大使ですが、ふるさと大使はいろいろなジャンルをやりますので、その中で多いのが古典芸能である。お笑いやトークショーの要望も結構ある。右側に円グラフがあるので見ていただくとイメージがわかりやすい。実績報告については以上である。</p>
会長	<p>では、どうぞ質問の方</p>
委員	<p>2月4日の高嶋ちさ子の件で感じたことです。これだけ満席に入ることによってびっくりして。ギャラも努力で若干下がった。本当に23年文化会館やっていて初めて新記録である。当日のチケットの販売方法について、窓口は一箇所だけではなく三箇所ぐらい開けてやる方法を考えたらどうか。一人消費するのに相当時間がかかる。あれはちょっとお客さんがかわいそうだなと思う。</p>
事務局	<p>窓口が一つというのは、非常に反省点である。窓口を増やすことによる経費、販売のコンピュータを増やすことによっても年間に払うお金も金額も変わる、そこに経費を投入して果たして良いかどうかという論議になってしまう。</p>
委員	<p>時間計ったら、2時間半から3時間。最後のお客さんに「何時間待っているの？」と聞いたら「3時間です。それでも買えなかった」と。</p>

課長	<p>同じことですがけれども、時間がかかるから帰られた方も結構いた。自分が確認しただけでも 5 人以上はいた。実態はおそらく 10 人以上列から退いて帰った人、並びたくない人、相当出たと思う。</p>
会長	<p>うれしい悲鳴であることは間違いないが、当然のようにたくさん入る事が常になれば活性化してく。売れることにも慣れるように、頭を切り替えていくことも必要と思う。</p> <p>アンケートは 4 割弱ぐらいの方が答えてくれた。高齢者の人の方がそういうことに対して誠実なのかということもあり、残りアンケートに答えてもらえなかった 6 割ぐらいの方がどう思っているかということも、われわれ念頭に置かなければいけない。</p> <p>次の来年度の事業について案がある。予算がかなり厳しい状況も踏まえて事務局の方から説明の方をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは第 2 号議案、「平成 30 年度に向けての事業について」である。講演料の予算が 264 万である。前年度比で 300 万円減になっている。市の財政の非常に厳しい中、各課で少しずつ削ってやっていくという全体の方針がある。したがって当館では 264 万で来年度の事業を行っていきたいと考えている。案を読んでいきたいと思う。7 月 14 日に警察音楽隊、これは毎年の恒例のコンサートになっている。警察ですので、公演料が無料になっている。12 月 8 日ですが、以前からこの会議で古典芸能をやる時期ではないかという話がある。会議の中でお笑いを含めた落語が良いのではないかということでプロモーターに相談したところ、今若い人から高齢者にいたるまで非常に落語がブームになっており、とても集客率があるという。特にその中でも非常に人気がある柳家喬太郎さん、三遊亭白鳥さん、古今亭菊之丞さん、この 3 人 1 組でこのホールでやるという案をいただいた。3 人の日程が合うのが今年度の中では 12 月 8 日の夜間しかないということで一応仮押さえはしてあり、この会議及び 3 月議会が終われば返事をする。この日午前午後は別の人が使用するのので終わった後すぐに落語の準備をして午後 6 時半開場、午後 7 時開演で 2 時間の演目を予定している。こちらの経費は交渉して現在の金額の 69 万円で行っていただけないかとお話を進めている最中である。これについての入場料はあとでご審議お願いしたいが、参考になるものがあまりなく、似たような演目が 3,000 円ぐらいでやっていることが多い。いつも白井はそこから 500 円引くという通例があり、一般 2,500 円、高齢者で 2,000 円、子どもは 1,000 円というかたちになるのかと思っている。12 月 23 日は上原彩子さんのピアノである。以前に仲道さんがやったようにプロジェクターを用いてのくるみ割り人形である。上原さんの希望は 3 歳からですが、白井市がどうしても 0 歳から入れたいということでしたら、初めての試みだがやっても良いとことな</p>

	<p>ので、こちらも仮押えの状況になっている。こちらも 12 月 23 日しか空いていない。当初 100 万円ぐらいでという話でしたが、プロジェクターもホールにありますし、以前やった仲道さんより高いのは、とても納得できないということと最終的に 87 万円という数字となった。金額ですが仲道さんの時と同じように感覚で 2,000 円以上は取れないと考えている。東京のホールで 5,000 円というのがありましたけど、5,000 円は白井では厳しいと思う。恒例の行事でふるさと大使ライブである。こちらは予算 64 万円です。交渉するようになっている。もし予算が余れば松本和正さんのピアノと朴さんのギター、こちら朴さんは韓国の女の子で現在千葉県に住んでいる。とてもかわいいギターリストでものすごい人気である。ミュージック音楽事務所に確認したところ、今なら 50 万で良いけれど来年再来年になったら人気があるので 50 万という話はまずなくなるだろう。倍にはならないけれども 70 万とか 80 万ぐらいにはなっていくことが考えられるというふうな話である。以上何点か案を出させていただきました。</p>
委員	<p>まず、個人的に 12 月 8 日の落語 3 人の開演時間が 19 時っていうことを、一番心配している。以前何年か前に 2 部公演で三遊亭園歌さんをやりました。お客さん数えたら夜で 133 人、そういう実績がある。若手は真打だけれど果たして時間帯が、寒いだろうし、利便性で電車の問題で車でもなかったら来られない。そういうことで一番心配している。この会館の実績というか私の経験ですが、2 部の公演を夜やると夜は 2、300 人になる。よほど宣伝しないと地域的に心配な部分も、今若手人気って聞いているからそれなりにあると思うけれど、時間帯が 19 時ということが一番心配なことである。</p> <p>若い子に人気があるが、勤めしていたら 19 時にここに入れるかどうか。そういう心配も出てくる。細かいこと心配していたら結論は出ないけど。</p>
事務局	<p>事務局も同じことを心配した。土日の昼間にやるのが一番理想である。ホールも空いていないのと、本人たちも本年度はこの 8 日しか空いていないということで、とりあえず仮予約である。たぶん夜ということがネックになるのではとのお話がでた。近年夜のコンサートってほとんど無い。そこはちょっと心配である。プロモーターの方では、どちらかという若い人が集まるから夕方から夜のほうが問題ないのではないか、と調子のいいこと言う。実際のところは蓋を開けてみないことには分からない。</p>
委員	<p>個人的には、結果を恐れずやってみればいい。相手が取れなかったらしょうがないこと。その結果がどういう結果かはやって見なければわからないこと。やる前に心配したってしょうがない。</p>

会長	<p>実際にこのホールの催し物を楽しみにしているのが60代70代の高齢者で、そこにターゲットを絞ると非常に厳しい時間帯だと思う。実際にさっきのアンケートに答えていない若い世代がいたとして、そういう方たちが足を運んでくれて大丈夫であれば、いかにそういう人たちに情報を伝えるかという方法を今まで以上に念入りに考えないと結果が厳しくなると思う。</p>
委員	<p>土曜日だから。若い子もお仕事が休みの子もいるだろう。普段の日だったら、水曜日だとか木曜日だったら。救われるところは土曜日ってことで。</p>
事務局	<p>これが平日だったらこの案はなかった。</p>
会長	<p>12月のこの辺の土曜日は忘年会の時期である。みんな飲みになってしまう。なんだかんだ街が活気のある中での設定なので、やるのであれば結構、結果を恐れず、ただ来ていただく嘶家さん達をがっかりさせてはいけない。他人のせいには出来ない。</p>
委員	<p>会長の言うとおりでである。三遊亭園歌さんをやった時も、本当百何十人しか残っていないのだから、あれはもうがっかりした。</p>
委員	<p>2、30代の若い人達に人気があるから夜でも大丈夫だと。我々の年代になると夜は寒いとか行くのは億劫だとかあるけど、一回やってみた方がいいと思う。どのくらい集まるか。</p>
会長	<p>出来れば我々が議論するのに、プロモーターの持っている情報ももっと知りたい。他の会場でどういう時間帯でどういう年齢層が来ているのか具体的に分かれば。</p>
事務局	<p>昼間がやっぱり多い。午後が多い。さっき言った若い20代30代の人がお客さんで多い。どこの会場でも満席にはなる。ただこの3人の組み合わせではないが、今若い人たちに人気のというのが何人かあって、今ブームだからその中の組み合わせでやっている。</p>
委員	<p>土曜日だから会長も言ったとおりに恐れずにやってみれば。結果を今から考えたってしょうがない。</p>
会長	<p>やる前提で議論するのであれば、やはりPR方法を普段通り以上のことを何かやった方が例えばエリアを広げるとか。若い子が情報を得られるような方法でPRするとか何か考えないと一抹の不安はあるのではないかなと思</p>

	う。それはまた次回持ち越してもかまわない。
委員	新聞にチラシ入れるのはすごく効く。経費はかかる。だけど回収率から個人的にやっていて自分は成功したと。ポスターも貼ってやれば、宣伝にもなるだろうから。
会長	若い世代は、新聞とっていないし、逆に車を運転していてFMとかAMとか聞いているが、そういうメディアを利用できるのだったらそういうところで宣伝してもらおうとか。あとみんなスマホいじっているから、携帯のツイッターと色々で見ている人多いので。そういう情報網とかあれば将来的にいいと思うのですが。
事務局	市はメルマガをやっていますけども、メルマガを流すと1、2件は、電話がかかってくる。
会長	予算面で264万円のうち64万円っていうのは、主催事業ではなくて、ふるさとライブのための役所の方から来ている予算ということなので実質的には200万円しかない。2本でおおよそその予算の4分の3以上になる。4分の1ぐらいしかない非常に厳しいのですが、それでもやるからには、中身の良い物やはりそれなりの成果を残せるように。
事務局	あともう少し値切れれば松本さんのピアノ、そうすると子供向けのピアノ以外に、本当に去年の江口さんのようなピアノを皆さんに聞いていただくことができるのかというぎりぎりの線である。
会長	ぎりぎり、60万ぐらいなのか。
事務局	いや40万。朴さんのチラシ見ていただくといいよいが、今非常に人気でよそのホールで安くて3,500円で高いところで5,000円超えている。非常に日本語が上手い。
会長	クラシックは分からないですけど売れる前のコアなファンは意外と貴重である。
事務局	自慢話ではないが、南シオンさんとか菊池洋子さんとか、ヴァイオリンの組み合わせでやった佐藤俊介君という人がいたのですけれど、今、日本じゃ呼べない。ヨーロッパでも一流どころで演奏会を繰り広げていて、パンフレットを見ると出ているのは、日本人の欄でなく、海外招へい組の欄である。当時それ

	<p>のセットで激安で呼んでいる。これから売れる人というのは本当にいいです。</p>
<p>会長</p>	<p>来年、この金額では出来ないのであれば。近隣でやっていなければ、やっぱり先駆的なところでやった方が集客は得られるのかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>事務局に聞きたいのは、当初は 3,700 万円。年々減。事務局はどんな考え方持っているのか。200 万円は千葉県ではワースト 1 でしょう。</p>
<p>事務局</p>	<p>非常に厳しい質問ですが、事務局はお金があった方が確かに運営はしやすいです。市で定めた目標っていうのにはお金が無いのからとって出来ないというのは担当としては言えない。それは配当された予算の中で最善を尽くすというのが僕ら行政マンなので、無い知恵を絞りながら頑張らなくてはいけないのである。</p>
<p>会長</p>	<p>役所は歳出と歳入という考え方で事業決算を行っているじゃないですか。我々素人目で見れば去年の差額って単純にやると 100 万きっているわけです。歳入と歳出の差っていうのがその金額でこれだけの効果を残せたっていう一つの実績だと思うのですけれども、そういうことに対する評価というのは事業仕分けの予算たれ流しみみたいな言い方されたことに比べれば、もうちょっと評価に値しても良いのではないかなと思う。実際にそういうことをやってここに足を運ぶ人が増えて市民に喜ばれるようであれば、いずれ反ってくるという認識があれば、実際にその差額分だと考えないと。要するに元手が無ければ事業も出来ないというのは、実際に。</p>
<p>委員</p>	<p>200 万じゃ演歌なんて誰も来ないよ。僕は、1 年に 1 回、舞台をやっている。それは、自分の事務所と交渉して。事業仕分けだったら、もっと他のものもあるじゃないかって個人的に思う。憤りを感じる。</p>
<p>長</p>	<p>要は、僕が思うに例えば 500 万円あってお金がかかっていないものを除けば 4 本。同じ本数は出来ないけれどもでも中身はしっかり投資をして、収益はこの実績です。繰り返していれば、当然、毎年毎年変わってくるわけだからもうちょっとなんとかしようかってなることもある。将来的にはありうるわけですから。</p>
<p>委員</p>	<p>200 万じゃ何にも出来ない。はっきり言って。本当に。</p>
<p>会長</p>	<p>何も出来ないではなく、1 本でもそれなりの成果を残せるように我々も協力して考えていかなければいけないと思う。</p>

委員	自主公演には、スポンサー等はつけられないのですか。
事務局	現状では、市直営館でやっているからスポンサーはつけられない。共済となります。
委員	本当はスポンサーでもつけられれば、一般市民だって自主事業って知っている人が 10 人中 8 人もいないのだから。
事務局	共済の話はプロモーターから良く聞く。自分たちが絶対存しないような内容で来るので。
委員	共済ってことは、会館を使うってことだけですか。
事務局	あと売り上げについては協定結ばなければならない。
委員	プロの舞台だとチケットで 10 割り増し、5 割り増しと使用料でとれるわけ。だから本当のことといえば、プロの人に貸した方が収入として入るって事。事務局は限られた人数で一生懸命やっている。大ホールと中ホールでバッティングしたら出来ない。辞めた方が手伝いに来ているのだから。そういう状況でスタッフが一生懸命やっている。
委員	貸し館で大黒字でも出せばいいのか。それもだめなのか。
事務局	貸し館事業で黒字にはならないですね。
委員	ならないのかもしれないけど、考え方として。
事務局	考え方として、黒字が一番良いですけど、全国のホールで黒字のところはない。みんな公共機関でやっている。減価償却率入れなければまた良いだろうけど、基本的に減価償却率を考えてやった場合は大赤字で、もし減価償却率を考えてやるのであれば、大ホール 260 日使ったと計算して一日 55 万いただければ、ツーペイになる。ただ 55 万払って使うかどうかですが。そういった点では相当な赤字。
委員	余計なことだが、千葉県下でナンバーワンは松戸の「森のホール 21」。アマチュアの団体は借りない。ほとんど全部プロだから千葉県でも全国的に有名であるが最初 8 年間位は、プロなんか入れられなかった。白井は、貸し館事業

事務局	<p>でアマチュア団体が使ってくれているぐらいになれば個人的に良いと思っている。</p> <p>主催公演のお話ですが、以前は 3,000 万円以上の予算があった。その予算の中、トータルで 5 割を回収という目標があった。1,500 万円を回収する。やっぱり子どもは、どうしても回収率は低い。入場単価が低いですから。その点オーケストラは非常に高い。だいたい 4 割ぐらいの回収率。では何で 5 割かということと必ず演歌一本とかポップス 1 本とか入っていた。演歌だと 1,000 万円、入場料金が 6,000 円×1 日 2 公演で、PA 席を除いて、だいたい 1,500 席あり、6,000 円で売るわけですから、結構良い数字が出ます。ポップスは 1 日 1 公演で、大体 600 万円ぐらいの公演費でも、750 席あればほぼ満席に近くなり、かなりいい数字が出る。過去だと、南こうせつや、ディーンとか有名どころとかをかなりやっており、そこそこの成績を上げている。これから事業仕分けになってきて全体的に業界の値段も下がり、こっちの予算も落ちてきたが、教育だからといって直ぐ結果が出るわけではない。事業仕分け人は直ぐ結果を求める。教育の効果が出るのは、10 年、20 年先の話。でも、その効果が明らかな数字となってここのホールのものに対して出るかということ、それは出ないわけである。ここでプロでも生まれて、その人が世界中でも有名になるという話があれば話は別であるが。そんな中でも例えば子どもから入れる教育的なものを前面に出して聴く人達を育てるということで、非常に安価な価格で入場できて、このホールに来ればいい音楽が聴けるといいうそういう習慣をつけましょうということやってきた。去年だったら江口さん、その前だったら仲道さん、日本でも有名な実力のあるピアニスト。過去にヴァイオリニストをお呼びしてやっていた。50 万から 100 万円の間の出演料にそれで子どもも入れていただいて入場料金も安くしていただいて、枚数も売れるって言うことで今 6 割を目標にしなさいということ 6 割を目標にしてやっていっている。今年は 8 割オーバーになっていますけれども目標は 6 割である。会長がおっしゃったように浮いた 2 割分を今年度回してくれれば良いのですが単年度会計です。</p>
会長	<p>要は予算をとるに値するものだっていう認識が持たれるような結果を毎年毎年出していかないと全体的な行政の予算の話で、そこに割り込むのが難しい時代なのは間違いないですね。ここは事務局も厳しいと思う。</p>
委員	<p>内の家内が時々このホールで聴かして貰っているが、その時に言うは「内みたいな市でよくこういう人たちを呼んで聴かしてくれる」と言っている。そういう意味で、この市がすごいとは言わないが、良い市だという言い方をしている。それはそれで効果をもたらしていることである。</p>

会長	そういう声が、どんどん上がってくれば提供する側も良いものを提供して効果を上げようと、その繰り返しが活性化につながっていく話である。
委員	文化会館をほめるわけじゃないけど音響が良い、照明も良い、駐車場もある、楽屋もある。印西、八千代、佐倉は楽屋がない。踊りをやる人は楽屋がなかったら、どこで着替える。「森のホール」はあるけど舞台まで上がるのに迷子になる。白井にはそれだけのすばらしさがある。駐車場もこんな広い駐車場はない。「森のホール」は1日止めるのに500円も取られるのだから。ここはただ利便性の問題で駅の近くじゃないから来る人も大変だろうけど。本当にいいところは沢山ある。
事務局	先ほどよそのホールや都内のホールだと、朴さんも5,000円、松本和正さんも5,000円。うちは2,000円ぐらいでやっている。普通は許可が下りない。例えば高嶋さんのときも500円安くなっている。いつも交渉する時に私どもは、市直営館であり指定管理でない、教育委員会が主管担当課でやっているの、この事業については教育委員会報告になるので、是非御理解いただき、この値段でやらせていただきたいと全面に出す。それを音楽事務所さんから本人に確認して教育のためならとOKをいただく。そこがよそのホールと違う、うちのホールの良いところと思う。
会長	横道にそれるが、今出ている料金的なところは、一定ガイドラインは出しておいた方がいい。
事務局	どれを交渉していったらいいのか。日にちが入っているのは交渉を開始している。
会長	嘶家さんのものと上原さんのピアノについては、入場実績を大体どのくらいの目標として、さっき言ったように6割回収の料金設定をしないといけないと思うがどのくらい見込めそうか。
事務局	落語は350ぐらいと思っている。プロモーターが言うには白井だったら一般を2,500円、65歳以上2,000円、子どもを1,000円にしたいと、65歳が以上多くなるとか。本当若い人も多い。
会長	ミーハーなファンが多いということか。
事務局	7割ぐらいいけると思う。

会長	2,500 円で 300 って 75 万ですか。
事務局	ただ子どもと 65 歳以上で割れるので、7 割から 8 割ぐらいかと。ふるさと大使の赤字をカバーできるのではないかと。プロモーターの方から提案が、65 歳以上が 2,000 円で小中学生が 1,000 円。よその似たような演目だとだいたい 3,000 円である。
会長	誰でもって事か。年齢別とかなくて。
事務局	大体 3,000 円。だから、うち 500 円安い慣例で。
委員	市民割引とかないのか。
会長	要するに主催事業であるから、一般で公演されているものより補助が出ている形で提供している話である。あくまでも市民に、普通だったら 3,000 円出さないと見られないものを 500 円引きで提供できるというこれ自主事業である。
事務局	質問に対して市民優先はしている。やりかたとして、基本は市の広報に先に出す。少し様子を見て売れ行きがだいたい詰まる時は市外に向けて一斉に広告を打つ。新聞折り込みも展開していく。そうすると船橋、印西、鎌ヶ谷の人にも動きがある。ファンクラブに声をかけてくれとも言う。高嶋さんは広報しか出していない。それだけで売った。売れないと困るからチラシは 2 万枚を作った。1 枚も撒ないうちに完売した。今のような形で市民ファーストにはしている。
会長	それがガイドラインで、ピアノについては江口さんと同じような感じということか。
事務局	子どもも入れるので仲道さんと同じような感じでよいのかと。2,000 円、1,500 円、1,000 円、確かすごく安くやったような記憶がある。
会長	この辺は今までの例にならい、仲道さんと同じような感じでしたらなければまず問題ないのではないかと。
事務局	例えば今値切って成功すれば松本和正さんで江口さんのぐらいのピアノコンサートが無理やり入れることも可能かと。その次の年に朴さんのギターを

	先送りで考えるか、なんとしてでも他辞めてでも朴さんのギターをいれるか。
会長	同じピアノばかりよりもギターって新鮮かもしれない。
事務局	仲道の際は高校生以上 1,500 円、65 歳以上 1,000 円で、3 歳から中学生が 500 円で設定していた。そうすると一般が、1,500 円で 65 歳以上が 1,000 円で未就学児が 500 円ぐらい。それでもかなりの回収率あった。あとギターは新鮮か。会社のイベントでクラシックギターをやったことがあり、拡声で悩んでいたが、ギターリストさんがリハで弾いてみて「拡声しないでやりたい。音十分です。」って言ってくれて拡声しないで出来たから結構音よかったのではないかなと思う。
委員	あと公演時間の問題あるのではないか。
事務局	公演時間の 2 時間を 1 人で弾き続ける、弟子とか全然なくて 1 人で弾き続けると思う。トーク無し。
委員	今、世界的なギターリストであり、小澤征爾が絶賛している。
事務局	これ営業トークかどうか分からないが、「倍にはならないけど、この値段はもうない。」と。今、お返事頂戴って言われているけど、今出来ませんと言った。こういう電話をこっちからするとみんな飛びついてくるから話が難しい。
委員	限られた予算だから大変だ。
事務局	ギターの方でがんばりたいと思う。
会長	10 万 20 万って補正予算で組めないのか。
事務局	組めない。同じ 12 節役務費中でひねり出すという感じである。
会長	わかりました。取りあえず、次年度はその方向で基本的なものをまた作って報告をお願いします。
事務局	はい。それで話進めていく。
事務局	これで議長から事務局のほう進行を返していただく、その他の議題で前配った資料では、「今後の文化会館の運営方針」であったが題名変えて、「白井市

	文化会館の今後のあり方」ということで文化課長から内容の説明をする。
課長	(内容の説明)
会長	これ最終的な決定権ってどこにあるのか。
課長	市長です。
会長	ということは議会議案になるということか。
課長	いや議会にはならないと思う。これを公表すればいろいろな方から御質問、御意見出てくると思う。あくまでも教育施設ですから、回収率の話もありましたが、教育目的の施設と考えている。小学校、中学校と同じレベルの教育施設だからその辺は十分考慮してくれと申し上げている。
事務局	質問とか
委員	特にありません。
会長	その他無ければ解散する。

公開用会議録を作成する際の注意事項

- 注1 会議録は全部筆記でも可とする。
- 注2 会議は、議題ごとに公開・非公開を明確にすること。
- 注3 概要版を作成する場合は、「である調」若しくは「です・ます調」のどちらかに統一すること。
- 注4 会議の公開・非公開については、審議会等に諮って決定すること。
なお、非公開の場合はその理由を会議録に記載することが望ましい。
- 注5 資料等に基づいて説明する場合は、事務局による説明内容を省略することが出来る。
- 注6 公開用の会議録は、原則発言委員名等を伏せること。なお、会長については、会長としての発言を「会長」、委員として発言を「委員」と表記するなど、発言の趣旨に鑑み工夫すること。
- 注7 会議録は、公開前に委員（発言者）に内容を確認すること。なお、参考人として出席を求めた者についても可能な限り発言内容の確認を行うこと。